＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	九州山口匠の会「匠の極」
グループの名称	九州山口匠の会「匠の極」グリーン化
直近採択グループ番号	06-0136-0728

（グループ代表者）

代表者名	田中　明　　代表者印
代表者所属先	株式会社サン建築工房
代表者所在地	福岡県北九州市小倉北区大手町3番1号
代表者電話番号	093-592-2668

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社サン建築工房
事務局担当者名	竹中　和徳　　印
事務局郵便番号	803-0814
事務局所在地	福岡県北九州市小倉北区大手町3番1号
事務局電話番号	093-592-2668
事務局FAX	093-592-2774
事務局担当者E-mail	takenaka@sunken.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	九州山口匠の会「匠の極」
２．グループの名称(必須)	九州山口匠の会「匠の極」グリーン化
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0136-0728
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	山口・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	田中　明
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社サン建築工房
８．グループ代表者所在地(必須)	福岡県北九州市小倉北区大手町3番1号
９．グループ代表者電話番号(必須)	093-592-2668
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社サン建築工房
１１．グループ事務局担当者名(必須)	竹中　和徳
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	803-0814
１３．グループ事務局所在地(必須)	福岡県北九州市小倉北区大手町3番1号
１４．グループ事務局電話番号(必須)	093-592-2668
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	093-592-2774
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	takenaka@sunken.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	9	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	10	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	4	
Ⅳ．プレカット	5	
Ⅴ．設計	0	施工が設計を兼務している
Ⅵ．施工	10	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	九州・山口地域材	九州全域と山口県	合法木材証明制度	3	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		30	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	30	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		15	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	15	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	10	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積		棟	
				㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	長寿命型は施工事業者は全社経験工務店である為、希望者を募り公平に抽選で優先順位を決めます。高度省エネ型は、未経験工務店を優先に配分していきます。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	4	戸
	優良建築物型								
	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
35	Ⅰ － 11	大林産業株式会社		747-0344	山口県山口市徳地八坂700番地	0835-56-5005
35	Ⅰ － 12	山口県森林組合連合会		753-0048	山口県山口市駅通り2丁目4番17号	083-922-1955
45	Ⅰ － 13	宮崎県森林組合連合会		880-0805	宮崎県宮崎市橘通東1丁目11番1号	0985-25-5133
44	Ⅰ － 14	株式会社トライ・ウッド		877-0311	大分県日田市上津江町川原2810-1	0973-55-2656
43	Ⅰ － 15	株式会社人吉素材流通センター		868-0095	熊本県球磨郡相良村柳瀬3451番地の18	0966-24-8845
43	Ⅰ － 16	阿蘇森林組合		869-2224	熊本県阿蘇市蔵原885-1	0967-34-0335
43	Ⅰ － 17	小国町森林組合		869-2501	熊本県阿蘇郡小国町宮原1802-1	0967-46-2411
44	Ⅰ － 18	山国川流域森林組合		871-0405	大分県中津市耶馬溪町柿坂138-1	0979-54-3443
44	Ⅰ － 29	佐伯広域森林組合		879-3302	大分県佐伯市宇目大字南田原283番地2	0972-54-3326
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
35	Ⅱ － 11	大林産業株式会社		747-0344	山口県山口市徳地八坂700番地	0835-56-5005
45	Ⅱ － 13	宮崎県森林組合連合会		880-0805	宮崎県宮崎市橘通東1丁目11番1号	0985-25-5133
44	Ⅱ － 14	株式会社トライ・ウッド		877-0311	大分県日田市上津江町川原2810-1	0973-55-2656
43	Ⅱ － 16	阿蘇森林組合		869-2224	熊本県阿蘇市蔵原885-1	0967-34-0335
43	Ⅱ － 19	小国ウッディ協同組合		869-2501	熊本県阿蘇郡小国町宮原1734-2	0967-46-5360
44	Ⅱ － 20	株式会社豊後木材市場		870-1132	大分県大分市光吉890-1	0975-69-3200
43	Ⅱ － 21	有限会社三和物産		868-0095	熊本県球磨郡相良村大字柳瀬820番地11	0966-24-6002
43	Ⅱ － 22	久開産業株式会社		868-0081	熊本県人吉市上林町1443	0966-24-2141
43	Ⅱ － 23	有限会社穴井木材工場		869-2401	熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場2082番地	0967-42-0861
44	Ⅱ － 29	佐伯広域森林組合		879-3302	大分県佐伯市宇目大字南田原283番地2	0972-54-3326
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
44	Ⅲ － 14	株式会社トライ・ウッド		877-0311	大分県日田市上津江町川原2810-1	0973-55-2656
43	Ⅲ － 17	小国町森林組合		869-2501	熊本県阿蘇郡小国町宮原1802-1	0967-46-2411
43	Ⅲ － 19	小国ウッディ協同組合		869-2501	熊本県阿蘇郡小国町宮原1734-2	0967-46-5360
35	Ⅲ － 24	株式会社みうら		746-0022	山口県周南市野村3丁目24-1	0834-63-8811
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
44	Ⅳ － 9	藤丸建設有限会社		870-0125	大分県大分市大字松岡６６４５番地の１４	097-594-3067
40	Ⅳ － 25	原田木材株式会社		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4-3-2	092-631-5621
40	Ⅳ － 26	株式会社ワイテック		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭四丁目5番12号	092-633-6151
35	Ⅳ － 27	防秋産業株式会社		747-0062	山口県防府市上右田1159番地	0835-22-1189
31	Ⅳ － 28	株式会社ミヨシ産業		689-3423	鳥取県米子市淀江町小波字泉原1892-1	0859-56-6868
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
施工が設計を兼務している

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
	V －							
	V －							
	V －						

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							10	○	○
45	Ⅵ - 1	80527	アイ・ホーム株式会社		880-0212	宮崎県宮崎市佐土原町下那珂3569番地7	0985-73-7770	○	
35	Ⅵ - 2	79006	株式会社寿工務店		750-0051	山口県下関市大坪本町25番25号	083-232-3300	○	
40	Ⅵ - 3	79741	株式会社サン建築工房		803-0814	福岡県北九州市小倉北区大手町3番1号	093-592-2668	○	
40	Ⅵ - 4	79898	星和住研株式会社		802-0974	福岡県北九州市小倉南区徳力一丁目12－6	093-962-2323	○	
40	Ⅵ - 5	79744	株式会社タカノホーム		811-1351	福岡県福岡市南区屋形原1丁目36－20	092-566-3838	○	
35	Ⅵ - 6	78948	株式会社 トピア		753-0871	山口県山口市朝田131－1	083-928-5566	○	
42	Ⅵ - 7	80278	株式会社浜松建設		854-0206	長崎県諫早市森山町唐比北341－1	0957-36-2203	○	
35	Ⅵ - 8	78959	株式会社 原工務店		747-0808	山口県防府市桑山2丁目11－18	0835-38-0233	○	
44	Ⅵ - 9	80481	藤丸建設有限会社		870-0125	大分県大分市大字松岡6645番地の14	097-594-3067	○	
40	Ⅵ - 10	79655	株式会社 ホームランド		810-0022	福岡県福岡市中央区薬院二丁目4番15号	092-724-9133	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
45	Ⅵ－ 1	80527	アイ・ホーム株式会社	88 戸	83 戸	66 戸	63 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
35	Ⅵ－ 2	79006	株式会社寿工務店	7 戸	8 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	○
40	Ⅵ－ 3	79741	株式会社サン建築工房	15 戸	15 戸	13 戸	13 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	3以下		○	○
40	Ⅵ－ 4	79898	星和住研株式会社	5 戸	5 戸	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			○
40	Ⅵ－ 5	79744	株式会社タカノホーム	25 戸	25 戸	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			○
35	Ⅵ－ 6	78948	株式会社 トピア	21 戸	21 戸	21 戸	21 戸	0 戸	0 戸	4 戸	3 戸	0 ㎡	30 ㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
42	Ⅵ－ 7	80278	株式会社浜松建設	48 戸	50 戸	2 戸	2 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	120 ㎡	120 ㎡	3以下	3以下	3以下		○	
35	Ⅵ－ 8	78959	株式会社 原工務店	31 戸	28 戸	8 戸	10 戸	0 戸	0 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
44	Ⅵ－ 9	80481	藤丸建設有限会社	16 戸	16 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
40	Ⅵ－ 10	79655	株式会社 ホームランド	2 戸	3 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	○
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 九州山口匠の会「匠の極」	（地域型住宅供給対象地域） 山口・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 九州山口匠の会「匠の極」グリーン化	（結成年） 2012　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0136-0728	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○地盤調査結果に基づき必要に応じて的確な地盤補強を必ず行う。 ○台風対策として陶器瓦の場合、防災瓦として瓦全数ビス止めとする。 ○白蟻対策として床下への湿気流入、蟻道を遮断するベタ基礎とする。 ○夏の暑さ対策として開口部に低放射複層ガラスを使用して省エネ住宅とする。（使用箇所は適材適所）	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○耐震性を高める為に、二階建ての場合、壁や柱の直下率を高める設計をする。 ○夏の暑さ対策としてアメダスデータ等を活用して地域の風向を調査して窓の配置を考慮する。 ○土台は白蟻に強い桧材を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○風雨に対する外壁の劣化軽減として、和風外観の場合、軒の出を75cm以上とする。 ○南面の開口部には夏の太陽光の遮断、冬のダイレクトゲインの取込みを考慮した庇を付ける。 ○内外装に木材を取り入れた仕様やデザインをする。（例・・・押入れの壁に杉板を張り湿気対策）	◎
④ ①～③の背景	九州山口地方の夏は高温多湿で白蟻の害も多い、毎年台風が通過することも顕著で、家屋の倒壊や水害など自然災害の多い地域である。またかつては比較的地震の少ない地域とされていたが福岡の西方沖地震や一昨年の熊本地震など発生し甚大な被害をもたらした。これらを踏まえて、地域の気候・風土を一番良く理解した地域の工務店が住宅の性能や建て方、デザインルールを中長期的に取決めてグループとしての活動を行う。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	昨今の職人不足は深刻である。グループ内の仕事の変動に対応して職人を融通し合う仕組みをつくり有効な人材活用を図りたい。 また地域のネットワークを活かして技術技能を教えあう交流や情報交換など経営の効率化も行いユーザーに対して、よりリーズナブルで性能の高い住宅を提供する。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：土台は国産桧の105角以上とする。 通し柱は120角以上とする。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：バルコニーや陸屋根の防水に信頼性の高い金属防水（スカイプロムナード）を採用している。この防水は屋上緑化も可能。九州山口地域で伐採された木材を使用する。木材の規格は合法木材とする。	◎
	①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：建材・資材の調達が共同化できる品目をグループ定例会で精査してより信頼性が高くスケールメリットが生かせるものを選択している。 例・・・羊毛断熱材、金属防水、珪藻土、漆喰、浄水器、木材等	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：調達資材の仕様や価格交渉などを事務局に一元化している。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：積算委員会と設計委員会二つの委員会があります。積算は仕入れルートや工法の違い人件費の地域差など精査して適正価格の追及をしています。設計はディティールの標準化によるコストダウン等検討しています。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：多種、多様な建材・資材の中から事務局があらかじめ絞り込みます。そして厳選された建材・資材をグループ定例会で検討し事務局が取りまとめてグループ会員へ情報発信します。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：各工務店の過去の失敗例をオープンにしてグループ全体で改善策を議論し共有ます。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：検査機関の検査の他、基礎配筋、構造躯体、木工事、竣工検査を工務店毎の自主検査を義務付けしている。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：当グループの見積・積算の信頼性の向上は常に適正価格をユーザーへ提示することです。定期的な市場調査や同業他社の価格動向に注視して見積・積算の精度を高めています。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：当グループは朝日新聞の後援を受けています。グループの家づくりの理念を毎月、新聞で告知しています。またホームページでも同様の告知を行っています。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：一部の工務店や製材所ではまだ隔週2日制となっており、全ての工務店が週休2日制になるように促していきます。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：建築士や建築施工管理技士については、手当を支給している。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：全社、社会保険に加入している。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：年1回以上の健康診断を実施している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		当グループは工務店オーナーによる定例会、上記の積算委員会、設計委員会の他、IT委員会があり、それぞれ毎月1回開催されています。IT委員会の活動の目的は地域の工務店の家づくりを一般ユーザーへホームページや新聞広告等で正確に伝えることです。 また森林体験ツアーや家づくり見学会等イベントの企画を行い地域工務店の弱点でもある情報発信力を補っています。		◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）九州山口匠の会「匠の極」	（地域型住宅供給対象地域）山口・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）九州山口匠の会「匠の極」グリーン化	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0136-0728	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	住宅履歴情報蓄積の管理体制として第三者機関への登録を義務付ける。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：	一般社団法人、JBNの「いえもり・かるて」等を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	住宅履歴情報預り書をグループ事務局へ提出する。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	グループ共通の定期点検は1年、3年、5年、10年、15年、20年、30年とする。	◎
		②-2 補修の共通ルール	■ ない	□ ある →	内容：		
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	定期点検に基づく結果報告を事務局へ行う。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：	維持保全計画と住宅履歴情報蓄積の重要性とそのしくみを引き渡しのおり施主に説明する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：		
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：	構造見学会、完成見学会等のイベント案内をOBへも行いメンテ相談を受ける。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：	アフターメンテナンス委員会を設置して事例報告や予防方法の検討を行う	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：	住宅金融普及協会「住まいの管理手帳」を施主へ配布して自主点検や日常のお手入れについて説明する。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：	隣接するグループ構成員が事務局と連携して施主の対応を行う信頼維持に努める。「住宅完成保証制度」の活用を推奨する。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：	上記アフターメンテナンス委員会で過去の事例を持ち寄り勉強会を実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			自然災害等発生した場合、事務局の発令のもと職人や資材の提供など相互支援体制が出来ている。近年では２０１１年、新燃岳の噴火の際、屋根に降り積もった火山灰の除去作業を宮崎県の工務店の支援として行った。				◎

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	■ ない	□ ある →	内容：	未経験工務店はありません	
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	当事業の説明会を実施して共通ルールを共有する。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	実績報告時に事務局へ竣工図と完成写真を提出する。定期的に各工務店の現場を相互に定期訪問する。	○
	③-1	需給計画の策定	■ ない	□ ある →	内容：		
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：	2020年に向けた省エネルギー（ZEHやBELS）に関する勉強会を開催する。2016年はパッシブ住宅についての勉強会を5回開催した。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある →	内容：		
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　20		今年度の参加目標人数　0		◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　20		今年度の参加目標人数　0		◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	JBN（全国工務店協会）主催の講習会や住設メーカーの講習会へ積極的に参加している。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：	まだ一部であるが地熱乾燥木材を使用している。地震対策として制震装置や耐震金物等を精査して採用したい。	◎
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			当グループの家づくりのテーマは『冬暖かく夏涼しい家』である。気密・断熱の性能を求めつつ日射の遮断や取込み、自然の風や光の取込みなどパッシブ的要素も含んだ住宅を目指している。				◎

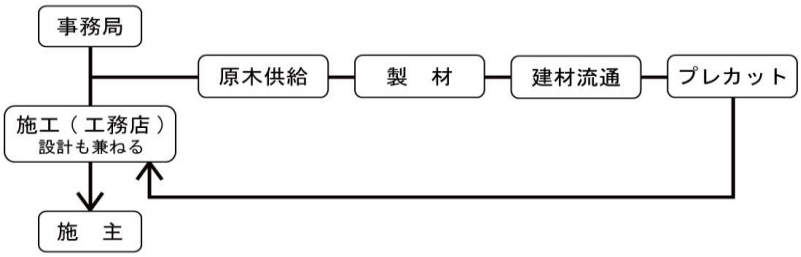
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）九州山口匠の会「匠の極」	（地域型住宅供給対象地域）山口・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）九州山口匠の会「匠の極」グリーン化	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0136-0728	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材（柱・梁・桁・土台）の過半に九州山口産の地域材を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度当グループの新築着工予定は280戸位である。原木、製材、流通、プレカットとも遅滞なく供給できる。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：熊本県八代地域はイグサの産地である。和室に限らずリビングにタタミコーナーを設けたりしている。	◎
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和室の続き間がまれである為、和室の押入れ等で使用している。	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：障子は和室に限らずリビング等でカーテンに変えて頻繁に使用している。	◎
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：福岡県田川市は漆喰の産地であり、福岡県飯塚市は珪藻土の産地である。　内外装で漆喰や珪藻土を使い地域産業の活性化を図りたい。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：小屋組みや梁桁を化粧で、あらわしにしたり大きな開口部には下屋庇を採用して和風らしさを強調している。	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域の景観を害さない外壁や屋根の色や屋根型形を採用する。 庭木やｼﾝﾎﾞﾙﾂﾘｰを外構計画へ盛り込み緑の多い町並みを形成する。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：土間玄関や引き戸の多用、内装材には塗り壁や和紙張りを採用している。 和の住まい推進関係省庁連絡会議作成の「和の住まいのすすめ」を活用している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		内装建具等、極力既製品の建具を使わずに杉や桧の無垢材を使った地域の建具職人造作の建具を推奨している。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組	JBN（全国工務店協会）を通じて募金活動を行った。 被災地の視察を通じて耐震性向上や精密な地盤調査の必要性を学ばしていただいた。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 九州山口匠の会「匠の極」	（地域型住宅供給対象地域） 山口・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 九州山口匠の会「匠の極」グリーン化	（結成年） 2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0136-0728	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

当グループの木造住宅は、国産木材や塗り壁等、自然素材を多く使った健康住宅です。高気密、高断熱による温熱性能に優れた省エネ住宅でもあります。
また夏期の高温多湿の環境はエアコン等の機器に頼るだけではなく庇や緑のカーテンによる遮熱や風向きを考慮した窓の配置で風の流れをつくり体感温度を下げるなど
パッシブな家づくりも目指しています。

『 認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅の共通仕様 』

〇照明器具にLEDを採用する。白熱球は使用しない。
〇外皮性能を上げるため極力断熱性能の高い工法を採用する。
〇窓は低放射ガラスを使う。
〇浴槽は高断熱浴槽を使う。
〇水栓金具は極力、節水型水栓金具を使う。
〇給湯設備は高効率給湯設備を使う。
〇トイレ設備は節水型トイレ設備を使う
〇主たる居室の冷暖房は、極力高効率エアコンを採用する。
〇庇や軒を上手に設計に取り入れて、夏の暑い日差しを遮り、冬の暖かい日差しを取り込む。
〇ゼロ・エネルギー住宅はBELSを必須とする。

『 ゼロ・エネルギー住宅のルール 』

R　→　102％以上とする。
R0　→　25％以上とする。
UA　→　0.6以下とする。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。